

総務政策委員会会議録

招 集

令和5年7月18日(火) 午前10時 議会委員会室

出席委員(8名)

(委員長) 渡 辺 穰 爾 (副委員長) 吉 岡 古 都
伊 藤 ひろえ 稲 田 清 岩 崎 康 朗 門 脇 一 男
国 頭 靖 津 田 幸 一 森 谷 司

欠席委員(0名)

出席した事務局職員

松田局長 田村次長 松下調整官 田中庶務担当係長

傍 聴 者

岡田議員 奥岩議員 田村議員 塚田議員 戸田議員 西野議員 又野議員 松田議員
矢田貝議員
報道機関 2人 一般 0人

説明のため出席した者

【総合政策部】八幡部長
【淀江振興本部・淀江支所】中久喜本部長兼支所長
[淀江振興課] 山浦総合政策部次長兼課長

報告案件

・株式会社白鳳の経営状況について [総合政策部]

~~~~~

## 午前10時00分 開会

○渡辺委員長 ただいまから総務政策委員会を開会いたします。

本日は、総合政策部から1件の報告があります。株式会社白鳳の経営状況について、当局からの説明を求めます。山浦総合政策部次長。

○山浦総合政策部次長兼淀江振興課長 それでは説明させていただきます。資料に先立ちまして温浴施設淀江ゆめ温泉の指定管理者である株式会社白鳳の現在の状況、及び今後の取組について報告いたします。まず最初に、米子市淀江温浴施設淀江ゆめ温泉と株式会社白鳳の概要を説明いたします。米子市淀江温浴施設淀江ゆめ温泉は旧淀江町の頃に、地域の資源を総合的に活用するために既に開業していた伯耆古代の丘公園や物産館白鳳の里がある伯耆古代の丘エリアに滞在型レクリエーション施設かつ農村交流拠点を目指すと共に、町民の健康増進、及びくつろぎの場の提供と福祉向上を目的として平成12年、2000年ですね、8月にオープンした施設でございます。オープン当初から旧淀江町は併設する物産館白鳳の里を運営する株式会社白鳳に当該施設の管理・運営を委託しており、米子市と合併し指定管理者制度を導入以降も指定管理者として運営に携わっていただいております。米子市淀江温浴施設淀江ゆめ温泉は開業後、長きに渡り地元の方を始めとした、たくさんの方に愛されてきた施設ではございますが、昨今の新型コロナウイルス感染症拡大が長期にわたる今の状況が経営面に与える影響が大きかった状況に置かましても、ここ数年

にわたり経営改善に取り組む中で事業の責任からの大きな方針転換を図ると共に、お客様満足度向上に向けた創意工夫や部分経費削減の積み上げなど様々な策を講じてこられました。それらの努力が実を結んだ結果として前期に引き続き今回も経常利益が黒字に転じた報告ができることに至ったと考えております。

お手元の資料をご覧ください。2022年度の概要について説明いたします。新型コロナウイルス感染症の影響が続く状況の中で、2021年度当初より温浴事業を中心とするスリムな体制で顧客サービスの向上と施設の有効活用による経営改善に引き続き取り組んでまいりました。第2株主となりました一般社団法人G. Bから新たに取締役、及び監査役を迎え入れた経営体制で顧客第一、付加価値向上の実践に取り組みました。株式に関する所有状況につきましては、以下の表のとおりでございます。米子市は筆頭株主に変わりございません。鳥取県が実施するWe Love山陰キャンペーンへ継続参加してまいりましたが、このキャンペーンが終了したことに伴いまして新たに月間パスポート販売やサービスデーの開催など、誘客・広報活動に努めました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響もございまして温泉利用者数は前年を下回りました。その一方で、顧客満足度向上や飲食部門への集客を図る取組を行うと共に、管理コストの見直しなどを積み上げた結果、経常利益は402万2,000円の黒字となりました。黒字の状況につきましては、以下の表のとおりでございます。

今後の取組につきまして説明いたします。アフターコロナの消費者ニーズへの対応を進めながら、老朽化した施設の改修などによりお客様の満足度向上を目指します。今年度、大きなものとしましては脱衣室の壁紙の張り替え、及び露天風呂の壁の更新、こちらのほうを行うこととしております。また、一層の経営の効率化やコスト削減に努め、支出の抑制を図り収支の改善に努めます。温浴事業に新たに年会員制度を導入し、新規顧客開拓とリピーター化に向け取り組みます。レストランの新メニュー展開や物販部門の強化を図り、売上の増加を目指します。株式会社白鳳が持つ良質な水資源を活かすべく利用客への温泉水の提供を行う温泉スタンドを設置し、新たな集客獲得と収益の向上に取り組めます。さらには自分の車で各地の温泉を楽しみながら巡ることを提案する湯YOUパークへの登録を行い、全国に向けた情報発信により旅行者の需要に対応し集客獲得につなげます。

最後にその他の要項につきましてですけれども、どんぐり館につきましては施設の有効活用に向けて引き続き事業者の募集などに取り組んでいくこととしております。概略は以上でございます。

**○渡辺委員長** 当局からの説明は終わりました。

委員の皆様からの質疑、意見がありましたら。

森谷委員。

**○森谷委員** 確認ですけれども、今後の取組の中で温浴事業に年会員制度導入というふうを書いてありまして、今まで年会制度というのはなかったんですかね。新たに作るんですかね。

**○渡辺委員長** 山浦総合政策部次長。

**○山浦総合政策部次長兼淀江振興課長** 昨年度につきましては月間会員という形で会費を払いますと一定の額で割引を受けれるという制度を設けておりましたけれども、新たにそれを拡大しまして年間の、通年の会員ということの制度に広げたところでございます。

**○渡辺委員長** 森谷委員。

○**森谷委員** もう一点は、私も淀江に15年くらい生活してたんで感じるんですけども、ゆめ温泉を集客を上げるためには周辺の上淀廃寺だとか妻木晩田とかですね、こういったところの観光事業をもうちょっとどう盛り上げるかによって、また集客されると思うんですけど、その辺りのトータルのプランというか取組はどんなものでしょうか。

○**渡辺委員長** 山浦総合政策部次長。

○**山浦総合政策部次長兼淀江振興課長** 白鳳側のスタッフの皆様と近隣の施設の年間スケジュールの共有のほうをですね、図ろうということで今その調整を進めておりまして、今後イベント時期に合わせたPRであったりとかイベントに相乗りするような企画の展開であったりとかっていうところを進めていこうというところで、話を進めている状況でございます。

○**渡辺委員長** 森谷委員。

○**森谷委員** 本当は米子市の中でも淀江はかなり文化遺産があるところですので、しっかりとその啓発というかですね、ゆめ温泉の集客にもつなげていただきたいと期待しております。以上です。

○**渡辺委員長** 津田委員。

○**津田委員** 今後の取組の5つ目の丸ですか。水資源を活かすべく温泉水の提供というように書かれていますけど、今もあるのではないかなと思うんですけど、ほかのなんかちょっと画期的なシステムを導入されるということですか。

○**渡辺委員長** 山浦総合政策部次長。

○**山浦総合政策部次長兼淀江振興課長** 白鳳に伺いましたところ利用客の方へのサービスという格好で、入浴客の方にコインをお渡しし、そこでコインを入れることで一定量のお湯が出てくるスタンド、自動で出てくるスタンドというところを御用意させていただいたと。それについて飲用も可能ということでございますので、容器に入れて定量化を図るところで、それで順番を守りながら使っていただくことができるようになったというふうに伺っております。

○**渡辺委員長** 津田委員。

○**津田委員** 分かりました。ありがとうございます。

○**渡辺委員長** ほかに。

国頭委員。

○**国頭委員** 一般社団法人のG.Bっていう会社が第2株主になったということなんですけど、これは米子市の株を譲渡されたのか、その辺りを。もともと結構持つとられたのが買い増しされて、この数になったのか、第2株主になったのか、その辺り。

○**渡辺委員長** 山浦総合政策部次長。

○**山浦総合政策部次長兼淀江振興課長** こちら一般社団法人G.B、旧名称としましてはエッグという会社でございます。こちらのところがですね、白鳳の里を利用しましたフレイル対策事業等の事務受託を受けておりまして、業務受託ですかね、そちらのほうのところから白鳳との関わりができ、ここの未来性を感じたということで昨年まで株を保有していました寿製菓さんとJAさんのところに話をされたということで株の譲渡を受けたということが大きな株の動きと聞いております。それ以外にも一般の株主の方にもお声がけをさせてもらって、株のところのは買取をしますよという声かけをされて、この株数になっているというふうに伺っております。

○**渡辺委員長** 国頭委員。

○**国頭委員** ということは米子市の株ではなくて、米子市以外の株を買われて集められたんですか。

○**渡辺委員長** 山浦総合政策部次長。

○**山浦総合政策部次長兼淀江振興課長** はい。そのとおりでございます。米子市の株は減ってはおりません。変わっておりません。

○**渡辺委員長** 国頭委員。

○**国頭委員** 新たに第2株主から取締役ということで今後、米子市は、この株は今のところは放出する、もっと民間にっていう考えも今のところはないって感じですよ。

○**渡辺委員長** 山浦総合政策部次長。

○**山浦総合政策部次長兼淀江振興課長** 現状におきましては、株式会社白鳳の経営状況を安定化させるということが第一位でございます。その先でそういった議論のところに入ってくると思いますので、現状につきましては安定した集客、それによって経常利益の方の安定化そういったことを目指していくということで考えております。

○**渡辺委員長** 国頭委員。

○**国頭委員** 私も毎週お風呂入りに行っていたときもあってですね、大変お世話になっておりますけども、前にリニューアル、2年前くらいでしたっけ、リニューアルされた分ちよっときつく言ったんですけど、あまり変わってなかったんじゃないかと。CMで広告うたれた割にはですね、入っている者からしたらあまり変わってないのが少し、もう少しなんとかできなかったのかなと思ったりしました。地元の人だけじゃなくて安来市から入っておられる方も知ってるんですね、私。私なんかも中山のナスパルでしたっけ、とか、安来の白鷺温泉だとか行くんですけど、そういった人も多と思うんですけど、今ここは市内と市外、温泉は何割くらいとかは調査してないですか。

○**渡辺委員長** 山浦総合政策部次長。

○**山浦総合政策部次長兼淀江振興課長** 白鳳側の調査の詳しいことは、こちら側は、すみません把握してございません。

○**渡辺委員長** 国頭委員。

○**国頭委員** 民間の方が入って来られたので、そういったこともしっかりと取り組みながら今後の取組の全国的なネットワークの登録なんかも有効だとは思いますが、本当にいろんな方法が、黒字になったという継投力もありますので何かすればというところもあると思います。大変だとは思いますがしっかりと取り組んでいただきたいなと思っています。

○**渡辺委員長** 稲田委員。

○**稲田委員** 報告いただきました。指定管理者さんの中の動きはこのようなことで承知いたしますが、米子市としてはですね、側面というか後方というか本来の温浴・温泉事業は指定管理者で頑張ってもらおうと、ここには触れられてないんですけどフレイル事業やったりとかされてますよね。今後も市としてもただ任せただけじゃなくて拠点として考えられている部分で、どういった動きが、今フレイルということも僕は書いて欲しいなと個人的には思うんですが、フレイル事業を行っていたりとか、ほかにどういった事業を行っている、あるいは今後どういう事業を行おうと考えている、将来に向かってのところをちよっと教えてください。

○**渡辺委員長** 山浦総合政策部次長。

○**山浦総合政策部次長兼淀江振興課長** フレイル事業につきましては御指摘ありがとうございます。今後につきましてはですけれども、白鳳独自の所有資産となっておりますどんぐり館、こちらの活用についてというところが多く、今後の経営の展望を左右するものと考えておまして、こちらにつきましては施設の有効活用いわゆる入居で場所貸しにするとか、それともあそこのところを全部売却にするのかと、そういったところを考えていかなきゃならないターニングポイントに来ているというふうに共通認識を持っております。今後あそこをどういうふうに展開していくのかというところと一緒に考えていき、皆様にいい報告ができることを私どもも望んでおると、そういうことでございます。

○**渡辺委員長** ほかに。

伊藤委員。

○**伊藤委員** 利用者数と経常利益の推移を見させていただくとコロナ禍で減っているというのは分かるんですけど、2019年に比べると売上高でいうと半分以下にはなっていて利用者数はそんなに変わってないっていう、それはどういうふうに考えたらいいんでしょうか。また、飲食のみの人、入浴だけの人っていう、その利用者数っていう、分かれば教えていただきたいです。

○**渡辺委員長** 山浦総合政策部次長。

○**山浦総合政策部次長兼淀江振興課長** 2019年度と2020年度の大きな違いということでございますけれども、まずこの一点目につきましては、2019年度に行っておりました製造部門と宴会部門、こちらのところの売上がこちら2019年度は入っております。2021年当初より温浴事業一本のところ注力をするという事業転換を図りましたので売上自体は減ってますけれども、それに係る販売費及び一般管理費等の経費がかからなくなったということで経常利益に結びつくことができたというふうに考えております。

本当申し訳ございません。部門別の人数の表のほう、ちょっとすみません今日持ち合わせておりません。回答できません。

○**渡辺委員長** 伊藤委員。

○**伊藤委員** 後でも教えていただければありがたいです。いろいろ経営改善をしてこういふふう利用者数がそんなに減らずに黒字が出ているということなんですけれども、目標に対する2022年度の実績としてはどうだったのかっていうことについて教えていただいていいですか。

○**渡辺委員長** 山浦総合政策部次長。

○**山浦総合政策部次長兼淀江振興課長** 目標に対する実績値ということでのお尋ねでございますが、人数につきましては月間1万人の人数の集客を目標として設定はしております。収益につきましては前年度同額程度ということで、そこは達成したというふうに思っておりますが、残念ながら人数のほうはコロナ禍等の影響もございまして前年と比べましても若干少ないということで認識しております。

○**渡辺委員長** 伊藤委員。

○**伊藤委員** フレイル事業もやりながら少しずつ経営改善というか、いろいろな視点を含めてやってらっしゃるっていうのは理解するんですけど、存続っていう意味からすると大変厳しいかなと思っておりますので、様々な市民ニーズだとか観光の拠点というような意味合いでも改善を図っていただければと思います。以上です。

○**渡辺委員長** よろしいですか、皆さん。

吉岡委員。

○**吉岡委員** 先日、実際に行ってみりました。お風呂入ってきました。私が疑問だったのは、2022年度売上高は上がっていて、利用者数は減っているけど売上高は上がっているところが疑問だったんですけど、実際に行ってみて物販とかレストランとかすごく頑張っておられる、これがその辺の要因なのかなとは思いましたが、実際の営業利益っていうのは2022年度はどうなってますか。

○**渡辺委員長** 山浦総合政策部次長。

○**山浦総合政策部次長兼淀江振興課長** 2022年度の営業利益についての御質問でございます。売上高が9,776万3,000円というふうに表に記載させていただいております。営業利益につきましてはマイナスの1,652万6,000円ということになっております。ただこちらにつきましては営業外収益として2,075万円の収入ございまして、こちらはWe Love山陰キャンペーン等の入浴補助、こちらのほうが補助金という性格上、営業外収益に当てざるを得なかったということでこちらの金額が当て込んでであると、その差額の402万2,000円が経常利益として今回黒字になるというふうに考えております。

○**渡辺委員長** 吉岡委員。

○**吉岡委員** ということは実質的に赤字っていうこと。

○**渡辺委員長** 山浦総合政策部次長。

○**山浦総合政策部次長兼淀江振興課長** 本来であれば入浴料に収益が上がってくるものが、補助金という性格だったために営業外収益に上がっていると。こちら大体2,000万くらいのキャンペーン収入、これが入浴料補助でございますので、これが入浴料であれば売上高がさらにその9,700万の上に2,000万弱の金額が計上されるものだったと。そうなりますと、その表でいけば、その時点で営業利益のほうは黒字収支だったというふうな捉え方でいいと思います。

○**渡辺委員長** 吉岡委員。

○**吉岡委員** ということはキャンペーンがなくなったら、ちょっと利用者が減ってくる見込みですか。

○**渡辺委員長** 山浦総合政策部次長。

○**山浦総合政策部次長兼淀江振興課長** 昨年度と人員の動きのほうですね、入浴者数の比較をしております対前年度比の3か月、4月、5月、6月につきましては見ましたところ大体96.5%ぐらいの人数比でございます。5月の休みがゴールデンウィーク等ある期間につきましては、前年よりも1.1倍だいたい10%増の人数含めておりますので今後、夏休みであったりとか行楽シーズンであったりとか、そういったところの集客を期待している状況でございます。

○**渡辺委員長** 吉岡委員。

○**吉岡委員** 分かりました。コロナが明けて皆さんが出掛ける意欲が高まって、補助がなくてもってところかなと思います。あともう一つ、先ほど施設の補修のことについて御説明いただいたんですけど、これはやはり個別施設計画に基づいてということでしょうか。

○**渡辺委員長** 山浦総合政策部次長。

○山浦総合政策部次長兼淀江振興課長 市有施設でございますので個別施設計画というのが基本とはなりますけれども、やはり集客施設っていいですか、お客様が来られる施設でございますので緊急性が生じることにつきましては即座に対応したいということで考えております。やはり職員もですけれども、来られるお客様の安全・安心第一ということが今後の集客につながってくるというふうに考えておりますので対応しております。

○渡辺委員長 吉岡委員。

○吉岡委員 個別施設計画の中ではいずれ運営主体の会社に譲っていくようなことが書かれてるんですけど、どこまで米子市としては修繕とかにお金、大規模改修とかにお金を掛けるとか、令和7年度にかなり多額の改修費用が書いてあるんですけど、やってから譲るみたいな、そういう計画なんですか。

○渡辺委員長 山浦総合政策部次長。

○山浦総合政策部次長兼淀江振興課長 購入をもし希望される企業だった場合に、どのような状況の施設として、どのような金額の折り合いをつけるかというところが必要になってくると思います。ですので直さなくていいから安価に譲って欲しいという御要望があるのかどうかとか、若しくはきちんと直した状況で俎上にのせて欲しいというがあるのかどうかとか、そういった辺りも含めて今後、自分ところの経営状況、経常利益はどのようになるかということも含めて一緒に検討する課題として捉えていきたいというふうに考えています。

○渡辺委員長 吉岡委員。

○吉岡委員 折り合いがつかなかったら、このままの体制ということも十分あり得るってことでしょうか。

○渡辺委員長 山浦総合政策部次長。

○山浦総合政策部次長兼淀江振興課長 施設の老朽化ということもございますので、どの時期までこの施設を使い続けることができるのかということも含めててんびんにはかなければいけないというふうに考えております。

○渡辺委員長 吉岡委員。

○吉岡委員 行ってみて、かなりあちこち老朽化してるなっていうのもありましたしコスト削減の面からも例えば自動でお湯が止まるような水栓でもない、あとドライヤーとかも有料ではないとかいうところで、かなり経費削減そのものも難しい。投資しないと逆に難しいっていうような問題点もたくさんあるなあと思いましたので、米子市のマイナスがこれからどんどん増えていくようなことがないように将来的な展望をしっかりと考えていただきたいと思います。

○渡辺委員長 よろしいですね。

〔「はい」と声あり〕

○渡辺委員長 それでは質疑等ないようですので、以上で総務政策委員会を閉会いたします。

午前10時23分 閉会

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

総務政策委員長 渡辺 穰 爾